

# 江刺観光物産センターは 現在地のままでよいのでは

**質問** 江刺観光物産センターは江刺の観光情報の発信や物産の展示・販売、民芸・工芸作品の展示等を行う施設である。市有地で市所有の建物の中にある。市有地で市所有の建物の中にある。

江刺観光物産センターは（一社）奥州市観光物産協会が主体的に担うべきとはどういうことか。

**市長** 江刺観光物産センターの運営は同協会が主体的に行い、市は必要な支援をしていく。観光情報の発信拠点としての業務に対して支援する。

**質問** 市が同センターの設置場所の移転をすすめる理由は何か。

**市長** 同センターの向いにあるホテルが宿泊業務をやめたので、観光客の多



江刺観光物産センター



あつし 敦 議員(日本共産党)

い蔵町モーターに移った方が効果がある。

**質問** 同センターは、工芸・手芸作品展を通じて、市内のみならず県内、近県からの来店が多く、文化交流に寄与し、交流人口を増やしている。市は市の観光事業全体の発展のために、市内の観光資源を有機的に結び付けていくべきだ。

**市長** そのように対応していく。

## 移動診療車を他の地域へ

**質問** 昨年4月より、江刺に移動診療車が導入された。診療所を廃止した山間地4カ所を巡回しているが、江刺の他の地域へも展開をすべきでは。

**市長** エリア拡大は、診療時間が増えるため、体制に問題がある。奥州病院との協議が必要である。

# 不登校・別室登校の現状と課題は何か

**質問** 中学校から努力して高校に進学しても、不登校や退学になると、自己責任、家庭の対応に任される。中学校における不登校・別室登校生徒への対応が重要である。現状と課題は何か。

**教育委員長** 12月末現在、不登校65名、別室登校24名である。不登校生徒へは電話や家庭訪問等で家庭への働きかけをし、適応指導相談員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーと連携して取り組んでいる。別室登校の生徒には時間割や一日の予定をつくり、生徒の状況に応じて学習内容や活動に対応している。今後も適応指導相談員の拡充や問題行動等対策実行委員会での連携を進めていく。

## 職員配置は適正なのか

**質問** 職員の定員適正化計画により、職務が円滑に遂行される職場体制になっているか点検してみる必要がある。補充状況と改善策は。

**市長** 平成25年度から実施し

ている第2次定員適正化計画に沿って配置している。採用は9月の県内市町村統一試験日に実施しており、採用辞退等に備え、採用予定者数より多くの人数を採用候補者名簿に登録している。採用困難な職種では、随時採用試験を実施して人材確保に努めている。



統合後初の運動会（胆沢中学校）



たかばし まさいち 高橋 政一 議員(市民クラブ)